

24

げつようび

わたしは キリストの しょうにん

ローマ

16章 25～27節

私の福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

世の中は、とても便利でスマートになりました。それによって余裕ができた人々は、その余裕を楽しむようになりました。反対に、絶えず戦争が起きている所もあります。しかし、時代が変わっても場所が変わっても、人々はどうしようもなく、創世記3、6、11章の私、肉体、成功に縛られたまま生きていることに変わりありません。人を創造された神様を知らず、違うものに執着して、依存症になって抜け出すことができません。こうして心と考えが分離してしまった結果、精神的な問題に苦しむ人が多くなってしまいました。

神様を離れた人々にある問題は、神様に会ってこそ解決できます。神の子どもは、人々が神様に会うことのできる道を案内しなければなりません。それが伝道です。伝道する前に、私たちが生きているこの時代の問題に陥らないように私のことをふりかえってみましょう。ゲーム、ユーチューブなどに囚われて神様に集中できない心と考えがあるなら、神様の前に出しましょう。神様は福音を体験する機会を通して、福音でいやされた証人として私を用いてくださるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。時代の問題を見て、キリストを宣べ伝える理由を発見するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きのうの礼拝のみことばの中で握った祈りの課題と聖書箇所をもう一度、書いてみましょう。時代の問題に陥らずに伝道する理由を見つけるようになるでしょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

25

かよび

いつも ともに おられる かみさま

しゅつ
出エジプト
18章 19節

さあ、私の言うことを聞いてください。私はあなたに助言をしましょう。どうか神があなたとともにおられるように。あなたは民に代わって神の前にいて、事件を神のところに持って行きなさい。

かみさま
神様がレムナントのモーセを通して、奴隷生活をしてきたイスラエルの民に 10 の奇跡を与えられ、出エジプトするようにされました。一度も行ったことのない道を行くことになったイスラエルの民は、神様が神の子どもと永遠にともにおられ、導いてくださるといふみことばを受けました。しかし、彼らには依然として奴隷根性が残っていました。それゆえ神様は、紅海を分け、アマレクの軍隊に勝たせ、マナとうずらを与えてくださいました。それとともに、朝、夜、昼に雲の柱と火の柱で彼らを守ってくださいました。

私たちが行く道は、まさに荒野の道のようなものです。イスラエルの民のように、目に見える現実にだまされなければ良いのです。神様がイエス様をキリストとして送ってください、十字架ですべての問題を解決されたという霊的事実を覚え、神様とともにいる祝福を味わうことができるように祈りましょう (WITH)。そうすれば、神様が行く所ごとにとともにおられる証拠 (Immanuel) を与えられ、問題や葛藤、障害物があっても土台 (Oneness) にしてくださいませ。このように、いつもともにおられる神様を覚えて、福音がなくてわざわざいの中でサタンの奴隷になっている全世界 237 か国をいやす日を待ちましょう。

きょうのみことば



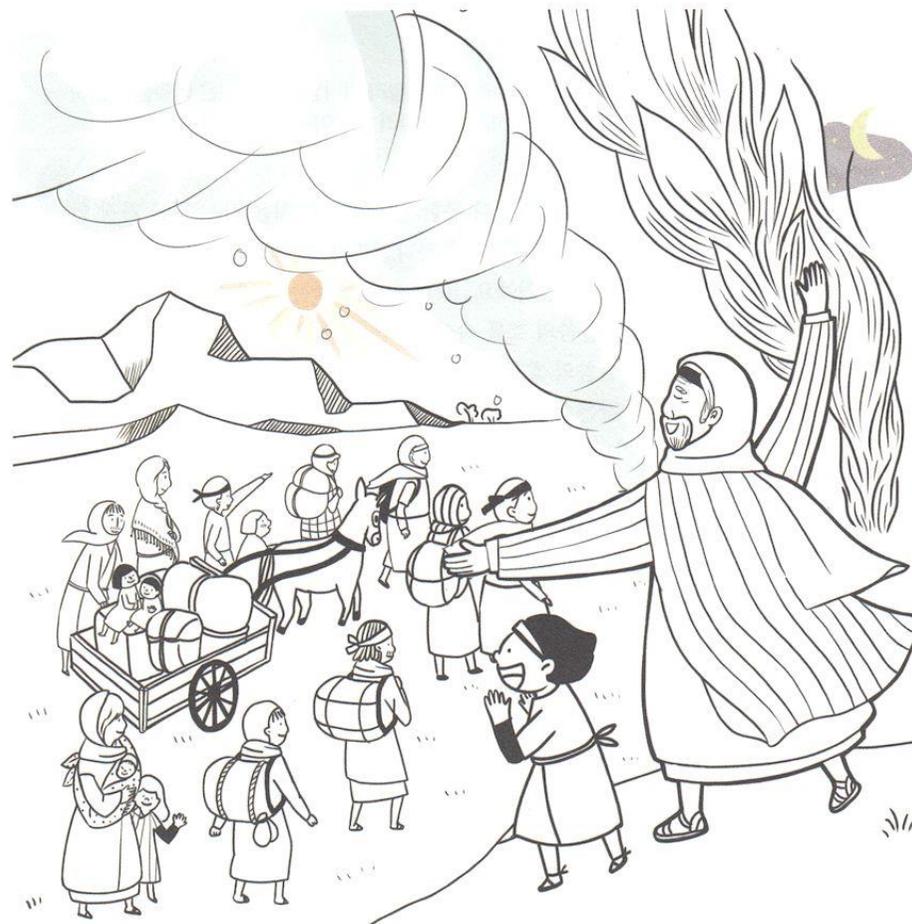
きょうのいのり

かみさま
神様、ありがとうございます。荒野のような現場を生かす祝福を神様とともに味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



色をぬろう

かみさま
神様はいつでも火の柱と雲の柱でモーセを守ってくださいました。
かみさま
神様が守ってくださる中にいたモーセに色をぬりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank space for writing preparation materials.

26

すいようび

けいやくの ながれの なかに いる レムナント

出エジプト 20章 20節

それでモーセは民に言った。「恐れてはいけません。神が来られたのはあなたがたを試みるためなのです。また、あなたがたに神への恐れが生じて、あなたがたが罪を犯さないためです。」

イスラエルの民は荒野の道も一度も行ったことがありませんでした。初めて歩く道を、安全に行くことのできる最善の方法は何だったのでしょうか。カナンまで正確に案内してくださる私のナビゲーションのような神様のみことばについて行くことです。レムナントのモーセには、出エジプトから荒野の道にいたるまで、ずっと危機が伴いました。しかし、みことばの流れの中において、揺れずに正確な神様の導きを受けました。その結果、みことばの流れにそのままついて歩む中で、正確な神様のみことばを握ったヨシュアとカレブのような弟子が出てきたので、彼らに契約のバトンを引き継ぎました。後には、二人を通してカナンを征服したイスラエルは世界福音化の祝福を味わうようになりました。

今、神様のみことばとそのみことばを宣べ伝える伝道者が消えて、多くの教会堂が閉鎖しています。神様はレムナントにみことばがない時代、暗やみの勢力につかまっている時代を福音で変化させる祝福をくださいました。いまは契約のみことばを心と考へに留めて、みことばの流れの中に入りましょう。モーセ、ヨシュア、カレブの答えを味わって証人の座にいるようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

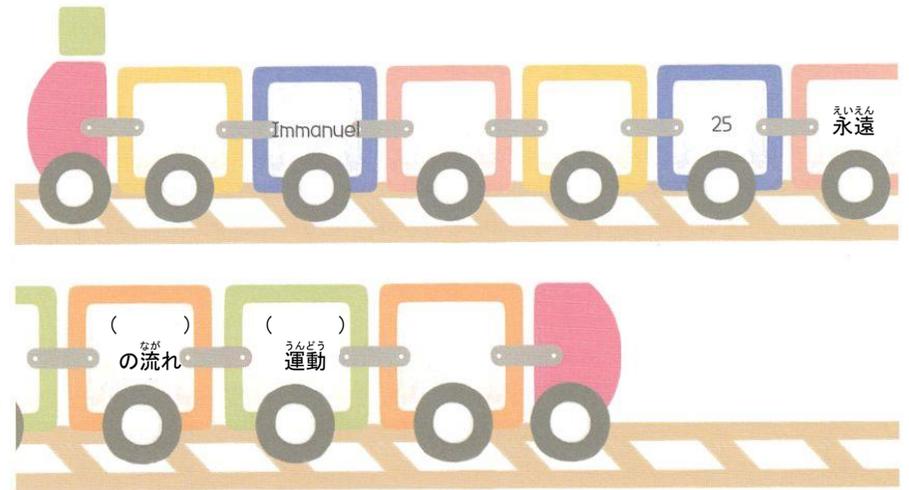
神様、ありがとうございます。みことばの流れと成就に従っていくレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

きょうのみことばから出て来る重要な単語をみことばの流れに合うように埋めてかきましょう。

伝道、Oneness
世界福音化、24
WITH、みことば



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

27

もくようび

じだいを かえる レムナント

しゅつ
出エジプト
3章 18節

かれらはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。

歴史の本を見れば、時代ごとに立派な偉人と巨大な国、また、すばらしい発明品とさまざまな資料を見ることができます。私たちはレムナントとして時代を見て、契約の流れを確認するべきです。巨大な強大国エジプトの流れの中にいたイスラエルは、契約をなくしてしまいました。その結果、エジプトの奴隷になってしまいました。そのとき、時代を見て契約を悟り、みことばの流れの中に入ったレムナントのモーセを通して、強大国エジプトが崩れて、奴隷から完全に解放されました。

今、私たちが生きているこの時代も、みことばが消えて、数多くの人がサタンの奴隷として生きています。その結果、宗教、偶像、シャーマニズム、占いという伝統の流れに閉じ込められた現実を生きるようになりまし。このような強力な勢力に勝つ方法は、レムナントひとりがかささげる礼拝から始まります。礼拝で宣言される神様のみことばをメッセージとして握るならば、モーセのように、現場の流れを変えて、世界宣教の証人になるでしょう。この事実を忘れないようにしまし



きょうのみことば

Blank lines for writing the message of the day.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。福音がない時代を変えることができるように、私に正確な契約をください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



今月の悩みはなんでしょう。

なやんで
います



パク・ウヨン牧師夫人！
わたしなやんでいます！

イスラエル民族があった7回のわざわいはいつのことですか。友だちに正確なことを教えてあげたいです。

祭司の国として選ばれたイスラエルの民が、自分たちだけが優れていると考える選民思想に囚われて、伝道と宣教をのがしてしまいました(創世記1:28、マタイ 28:16~20、使徒1:8)。さらに、他の国に暮らしている異邦人に対する神様の救いを無視したことによって、かえって異邦人たちの文化に陥って墜落してしまいました(1列王18:18)。その結果、神様はまわりの強大国のイスラエル侵略を許されました。

イスラエルの民は、戦争の苦しみにあって、ようやく神様を求めました。そのような彼らを見た強大国の人々が、生きておられる神様を体験して、福音が広がる結果へとつながりました。このような事がイスラエルには合計して7回もありました。どの場合においても、強大国が理由なくイスラエルに攻め込むので、民はみんな民族的なわざわいを体験しなければなりません。

エジプトで40年間奴隷として過ごしていた間も、ペリシテとアラムの国とアッシリヤから攻撃されました。バビロンの捕虜として、ローマの属国として生きた時代がありました。後にはヨーロッパで起きた反ユダヤ主義の拡散によって、国を失いさまよう放浪民族になりました。

私たちに伝えられたこの福音を、私たちはこれから伝えていなくてはなりません。イスラエルのことを土台として、一度とこのようなわざわいがこないように、ただ福音を伝える伝道者の生活に挑戦しましょう。

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for writing the message of the day.

Blank lines for writing preparation materials.

28

きんようび

レムナントの うつわ

使徒
9章 15節

しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

強大国ローマは全世界にとても大きな影響を与えた国でした。イスラエルは、全世界を生かす世界福音化の祝福をローマより先に受けました。ところが、自分たちだけが特別だという選民思想に捕われて、福音の邪魔をする迫害者になりました。それゆえ、神様はローマ福音化のために、レムナントのパウロを準備され、ダマスコでパウロが悔い改めるようにされました。そして、伝道者として行く国ごとに教会と弟子をたて、伝道運動が持続するようにされました。

多くの人が、現代を教会危機時代、ネフィリム暗やみ時代、宗教混合時代だと言います。なぜなら、霊的問題と精神病、中毒（依存症）時代になって、ますます多くの人が苦しむようになったからです。このとき、神様は再び回復させた伝道運動のなかに私たちをレムナントとして呼んでくださいました。この時代と現場を福音で生かすためにです。

いまは私たちがレムナントとして、神様がともにおられる者になって現場を知る者として器が整えられるように祈りましょう。聖書のレムナントが受けた祝福を同じように味わうようになるでしょう。



きょうのみことば

Handwriting practice lines for the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。危機時代、わざわい時代、中毒時代を福音で生かすレムナントの器を準備できますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
てまよう
適用しよう

レムナントとして呼ばれた私の器を整えるために、今月感謝したことを5つ思い出して書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

Handwriting practice lines for the daily devotion.

じゆんび
しりょう
準備する資料

Handwriting practice lines for the preparation material.

けいやくちゅうしん、れいはいちゅうしん まくやちゅうしんの せいかつ

しよつ
出エジプト
25章9節

まくや かのた まくや のすべての用具の型とを、わたしがあなたに示すと全く同
じように作らなければならない。

もっと おお こと とはどんなことでしょうか。わたし ねが けんこう かね めいよ
の最大の答えと。私 の願いや健康、お金、名誉の
ような肉体的なことでしょうか。神様の人には神様がともにおられる方法の中の
ほうほう せいさく けいやく の中にあることが最高の答えです。

かみさま あらの みち まくや つく ようにされ、じゅうにぶ じんみなが、すべての家庭の
かみさま あらの みち まくや つく ようにされ、十二部族みんなが、すべての家庭の
いりぐち まくや へ 向かうようにされました。契約中心、礼拝中心、幕屋中心の
せいかつ おく せいかく けいやく なか さいこう なた
生活を送るようになされたのです。その結果、根をおろしていたがんこな奴隷根性
と荒野根性がいやされました。後には、カナンの地を征服して、世界福音化の
あらの こんじょう ちのち せいふく せいかいふく しょうにん
証人にしていただきました。

きゆうやく しんやく かん べきな 神様の みことばは、いま おなじ ように 成 就 して います。
きょう まくやちゅうしん きょうかいちゅうしん れいはいちゅうしん けいやくちゅうしん かいふく
今日の幕屋中心は、教会中心、礼拝中心、契約中心にレムナントが回復して
あじ じゅうよう な 霊的 事実 であることを覚えましょう。きょう 教会 と 通 して
せんげん せんげん せいやく げんぼ ふくくん せいふく して、キリストの弟子が
た はたら 働きが起きるでしょう。



きょうのみことば



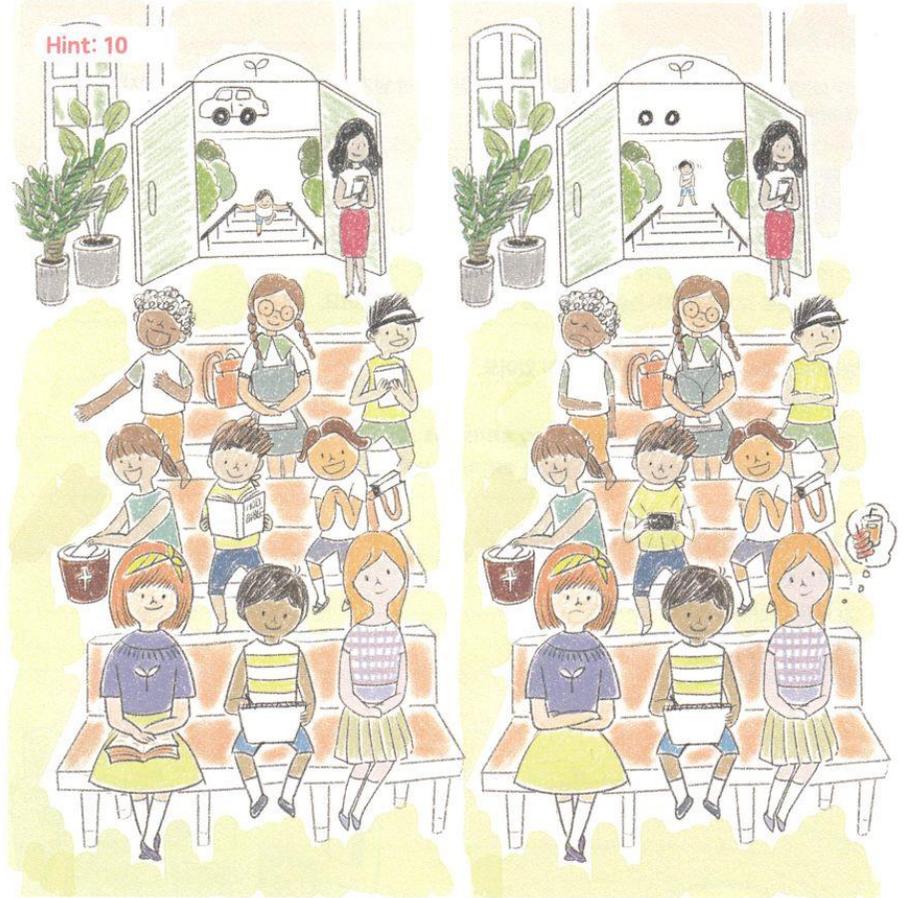
きょうのいのり

かみさま れいはいちゅうしん けいやくちゅうしん い
神様、ありがとうございます。いつも礼拝中心になって、契約中心で生き
る福音の証人になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前
によってお祈りします。アーメン



ちがいを
みつげよう

けいやくちゅうしん れいはいちゅうしん まくやちゅうしん せいかつ おく
契約中心、礼拝中心、幕屋中心の生活を送ることと、そうではない
せいかつ おく
生活を送ることには、大きな差があります。2つの絵のちがいを
みつ かくはん
見つけて、どんな差があるのかを確認しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料
